

院内のコロナ感染対策

令和3年1月に当院ではコロナのクラスターが発生しました。その際には患者さま、関係者の方々には多大なご心配とご迷惑をおかけしました。誠に申し訳ございません。その事実を真摯に受けとめ、クラスターの再発を防ぐ目的で院内のコロナ感染対策を再考し、再構築したものをホームページに掲載させていただくこととしました。皆様に安心して治療していただける病院を目指し、今後も努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

院長

外来診療

玄関、受付での対策

- ① 出入口の導線を分け出入りの人が交差しないようにした
- ② 床、椅子に印をつけ出来る限りソーシャルディスタンスを保てるようにした
- ③ 消毒をする場所へ患者さんを自然に誘導できるように工夫し

た

- ④ 来院者には、矢印と番号にそって進むことで導線を理解しやすいように配慮した
- ⑤ 受付カウンターに飛沫防止ビニールシートを設置した
- ⑥ 全ての来院者の体温検知システムによる体温のチェックをしている
- ⑦ 来院者全員にマスク着用をお願いをしている
- ⑧ 定期的換気をおこなっている



診察における対策

- ① 接触面の清拭（ドアノブ、ベッド、机、イス）を行い環境整備に気を付ける
- ② 患者さん毎に手指消毒、環境整備をおこなう
- ③ 熱のある患者さんは別の導線を用いて診察を施行する



処置、検査における対応

- ① できる限り患者さんと対面して処置、説明は行わない
- ② 採血はアクリル板越しに行う



救急搬入に対する対応

- ① 救急搬入の際にはゴーグル、ガウン、マスクの着用を行う
- ② 患者さんにもマスクの着用をお願いする
- ③ 患者さんごとに手指消毒、環境整備を行う

外来リハビリに対する対応

- ① 密になることを避けるために、午前・夜間ともに予約制でのリハビリを実施する
- ② ソーシャルディスタンスを取った待合を整備する

- ③ リハビリ室内の換気を行う
- ④ リハビリ室内の環境整備を行う
- ⑤ 患者さんにマスクの装着をお願いする
- ⑥ 外来患者さんと入院患者さんが混在しないように、時間帯を分けてリハビリを実施する



放射線科の対応

- ① 感染疑いの患者さんの検査時には技師の防護対策を万全に行う
- ② 感染の疑いの患者さんの検査は一般の患者さんとは重ならないようにする
- ③ 感染の疑いの患者さん検査後は換気および環境整備を十分に施行する

薬剤部の対応

- ① よく使用する箇所は頻回に清拭を行う
- ② スタッフは各々の作業、入退室ごとにアルコールで手指消毒を行う
- ③ 入院患者さん用の配薬カートは毎朝清拭をおこなう
- ④ 入院患者さんに対する服薬指導の際には、スタッフは事前にアルコールによる手指消毒を行い、基準に則った防護具を付けて指導を行う

入院に際しての対応

- ① 入院前3日以内にコロナのPCR検査（院内、外注）を行う
- ② 肺炎のチェックをレントゲンやCTを用いて行う
- ③ 肺炎、コロナのチェックが終了するまでは個室での隔離を行う



病棟の対策

- ① 手指消毒を徹底させる
- ② 個人防護具を適时装着する
- ③ 環境整備を行う
- ④ 病室の換気を頻回に行う

基準以上の換気のため新しい換気システムを設置した

- ⑤ 必要時に汚染区域と清潔区域を明確に区別できるようゾーニングを準備

- ⑥ 面会の原則禁止

- ⑦ 抗ウイルスコーティングを施行した



手術室の対策

- ① 医師 看護師をはじめとしたスタッフは、基準に則った防護具を付けて手術を行う
- ② 手術終了ごとに、基準に沿った清掃作業を行う
- ③ 新型コロナウイルス感染が疑われる患者さま（疑似症例）については、延期可能な手術の場合は延期とし、施行する場合はその日の最終手術枠で基準に則った万全な対策で対応する
- ④ 全身麻酔はエアロゾル（飛沫）が発生するリスクが高いため、麻酔操作時は患者さんの顔周囲をビニールカーテンなどで囲い飛散を防ぐ
- ⑤ 手術終了時は手順に沿った方法で片付ける

栄養部の対策

- ① 感染あるいは感染が疑われる患者様に対する食事の提供は、 Disposable (使い捨て) 食器で行う
- ② 患者様の食事を運ぶ際に使用する配膳車は、厨房内に入る前に必ず庫内、車輪共に次亜塩素酸ナトリウム溶液での消毒を徹底



職員食堂の対策

- ① 対面での食事禁止と昼食時食堂内の人数制限を行う
- ② ポリ手袋着用して食事準備を行い、食事後は各自清拭を行う
- ③ 食事時の会話禁止を徹底する

デイサービスの対策

- ① 換気を頻回におこなう
- ② 施設内を十分に清拭する

- ③ 利用者様の検温（37℃以上では利用の中止）を行う
- ④ 利用者様のマスクの着用をお願いする
- ⑤ 手指の洗浄および消毒を徹底する
- ⑥ 介助ごとに新しい手袋を使用する